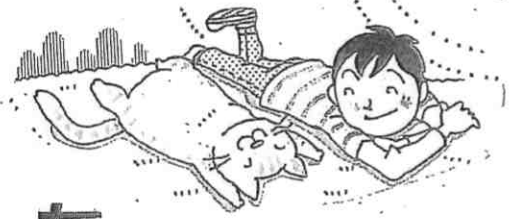


平成 26 年 11 月 21 日
京都市立花背小中学校

立冬も過ぎ、時折吹きつける風の冷たさに冬の気配を感じます。朝晩の冷え込みが厳しく日中でも足元からしんと冷えてきました。リビングに差し込む日差しが、わずかな暖かさを運んで来ます。子どもたちがその日差しと一緒に移動しながら日なたぼっこをしながら楽しそうにおしゃべりしている様子をみていると、心も温かくなります。寒さが厳るこの時期は体調を崩しやすい時期です。ご家庭でも、お子たちの健康管理についてご配慮をお願いします。

学校では、胃腸の調子を崩している
児童・生徒がちらほら……



秋の歯の検査が終わりました。

春の検査時より歯の衛生状態のよい児童生徒が多く見られました。春に、むし歯のあった児童も治療が完了し全体的に歯の健康状態は良好でした。歯科校医の先生からも「春に比べて今回は、ブラッシングがしっかり出来ている。毎食後のブラッシングを欠かさず丁寧に続けていきましょう！」と言葉をいただきました。

きれいで健康ないい歯はこうやってつくる

食べたらずきみがく

1本1本ていねいにみがく

毛先のそろった歯ブラシを使う

裏から見て毛が見えていたら交換

歯の裏がわ おく歯のみぞ

歯と歯のすき間 歯と歯ぐきのさかいめ

歯垢のつきやすい部分を中心に

ピカピカ歯の日

12月から、毎月8日の日の前後の日を「ピカピカ歯の日」として、給食後にブラッシングチェックを行います。ドラッグストアなどで一般的に購入できる「ハミガキ上手」を使って、磨き残しがないかチェックしながら磨きます。希望する児童・生徒のみ行います。25日に別途お知らせを持ち帰りますのでお子様と相談の上、参加の可否についての調査用紙をご提出ください。

かぜや、インフルエンザ、ノロウイルス等の感染症に注意が必要です。

かぜやインフルエンザ

ご注意を！

京都府感染症情報センターの報告では、11月9日時点で、右京区、上京区、山科区でインフルエンザにかかる人が出てきており、学級閉鎖の措置をとる学校も出てきています。感染性胃腸炎で病院に受診する人も増えてきているようですのでご注意ください。

京都市こどもの感染症

インフルエンザは予防が大切です！！

インフルエンザの流行する季節が近づいてきました。例年、12月下旬頃から流行が始まり、1月～2月頃にピークを迎えます。インフルエンザは予防が大切です。以下の点を心掛けましょう。

「かからない」

- 手洗い・うがいを習慣づけましょう。
- 日頃から、バランスの良い食事と十分な休息を取るよう心掛けましょう。



「うつさない」

- せき・くしゃみなどの症状があるときは、マスクをしましょう。
- マスクがないときは、なるべく周りの人から顔をそむけ、ティッシュやハンカチなどで、口と鼻を覆いましょう。



「流行前にワクチン接種を」

- ワクチンには、重症化を防ぐ効果があります。
- インフルエンザワクチンの効果を得るには、接種してから2週間程度の期間が必要ですので、早めの予防接種が効果的です。
- インフルエンザワクチンは、そのシーズンに流行するインフルエンザウイルスの「型」を予測して作られており、約5箇月間しか効果が持続しないため、毎年接種する必要があります。

- 注意事項
- 13歳未満の方は、原則、およそ2～4週間あけて、2回の接種が必要となります。
 - 費用は自己負担です。

★詳しくは、かかりつけ医療機関等にお問い合わせ下さい★

京都市保健福祉局より

これから冬にかけて様々な感染症に注意が必要です。別紙「感染症一覧」に記載の感染症は、感染力が強く、診断された時は、出席停止になります。

胃腸炎の症状が続く、咳が長引く、発熱するなど気になる症状のある場合は……

とにかく、はやめの受診を！！

～～～別紙の感染症一覧・報告書用紙をご確認ください～～～